

3. 東大阪市では、昨日時点での感染者数は97名で、5月13日以降新規感染者がゼロで続いています。市民の皆さまのご協力のお蔭であり、たいへんうれしいことです。とりわけ子どもの感染者とともに、70代～90代の高齢者が12名と割合が少ないことが特筆すべきことです。これは病院や介護施設老人施設で集団感染が発生していないことが大きな要因と考えられ、医療従事者や、介護等に関わっていただいている従事者の努力に負うところが大きく、改めて感謝申し上げます。医療従事者の皆さんは、困難な条件のもと、感染者の治療・予防の最前線で活動していただき、その活躍がなければ緊急事態宣言が解除され、社会経済生活が再開されることはなかったことは言うまでもありません。ただ医療従事者に対しては社会的な関心が大きく、財政

2006 第 2 回 定例会 個人質問

的な支援も目が向けられがちですが、介護従事者に対しては、社会的な関心は医療従事者に比べて薄いと言わざるを得ないのではないのでしょうか。

介護の現場は、身体を抱きかかえての移動など介護そのものが身体密着する機会が多い仕事であり、相部屋や集団での食事など、新しい生活様式の実践が困難といえます。また訪問看護・訪問介護は介護保険サービスの中でも重要なものでありますが、自宅の限られた空間の中での密着したサービスは、感染リスクがひじょうに高いと言わなければなりませんし、自分たちが感染源にならないかという危惧を抱えながら従事しています。マスクや防護服、消毒液などの物資の支援の必要性がひじょうに高い職場といえるものですが、民間の団体が介護サービスを行う2000以上の法人に実

2006 第 2 回 定例会 個人質問

施した調査によると、8割が介護物資が不足し、優先的に調達してほしいという回答を寄せています。昨日の質問でも、馬場議員からは在宅介護の問題点の指摘、松平議員からも在宅事業者への支援についての提言がありました。

国も閣議決定した第二次補正予算で、医療分野だけでなく介護福祉分野も新たな交付金の対象にし、福祉事業者への資金繰り支援や介護福祉事業者の相談窓口の設置などを出しましたが、マスクやガウン、フェイスシールド及び手袋といった個人防護具の配布については、医療機関への配布を明記し介護福祉従事者は劣後におかれています。介護施設で集団感染が発生したら感染者の数が一気に増えるのみならず、重篤になる高齢者も多くなると予測され、介護崩壊していく恐れが強いと言えます。市とし

2006 第 2 回 定例会 個人質問

て、マスクや消毒液などの衛生資材、個人防護具の配布について介護福祉事業所に優先的に調達する仕組みをつくること、介護現場のモチベーションを上げることにつながり、感染の第二波をより小さなものにすることができるのではないのでしょうか。市のお考えはいかがですか。

2006 第 2 回 定例会 個人質問